

子宮体がんの腹腔鏡下手術 ～からだにやさしい治療法～

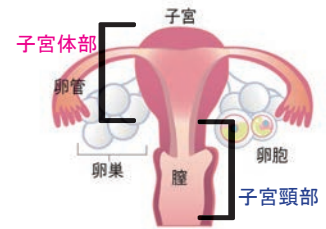
川崎幸病院

婦人科 / 婦人科部長 長谷川 明俊 (はせがわ あきとし)



子宮体がんとは

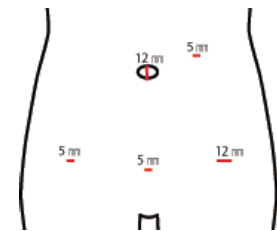
子宮は妊娠した時に胎児を育てる子宮体部と分娩の時に産道の一部となる子宮頸部に分けることができます。子宮体部に発生するがんを子宮体がんと呼び、また子宮内膜から発生することから子宮内膜がんとも呼ばれています。



腹腔鏡下手術による子宮体がん治療

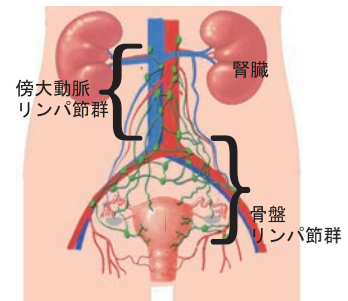
子宮体がんの治療では、手術により子宮とがんの転移の程度により両側付属器（卵巣・卵管）を取り除くことが基本です。手術療法には開腹手術と腹腔鏡下手術があり、当院では腹腔鏡下手術を数多く手がけています。

腹腔鏡下手術とは、腹部に5～12mm程度の穴を数か所開けてカメラを挿入し腹部内部の様子をテレビモニターで確認しながら、鉗子（かんし）と言われる特殊な細い器具を使って手術を行います。そのため、開腹手術と比べて傷が小さく入院期間が短いなど、さまざまなメリットがあります。



多くの子宮体がんは、リンパ節に広く転移する特長があるため、子宮全摘術に加え、他臓器への転移を予防するために骨盤内や腹部大動脈などのリンパ節郭清※（切除）を行います。

リンパ節は骨盤の深い位置にありますが、腹腔鏡は細長いスコープを用いるため、手の届かない骨盤深部に到達することができます。また必要あれば斜視鏡を用いることで通常では死角となり、見ることができないような場所も映像を拡大して手術できます。



※手術の際に、がんを取り除くだけでなく、がんの周辺にあるリンパ節も切除することです。がん細胞はリンパ節を通して全身に広がっていく性質があるため、がんが転移している可能性がある部分を取り除き、再発を防ぐことを目的としています。

診療のご案内

LINE 相談ははじめました！！ 婦人科医師が相談に応じます。



社会医療法人財団 石心会
第二川崎幸クリニック

受診予約 ☎ 044-511-2112

電話予約受付時間

月～金 8:00～20:00 土曜 8:00～17:00 日曜 8:30～17:00 祝日 8:30～17:00

